

平成19年5月15日  
経済産業省

## ヤマハ発動機株式会社製電動アシスト自転車用電動部品の リコールにかかる社告について

ヤマハ発動機株式会社は、同社が製造した電動アシスト自転車用電動部品（製品名：電動ハイブリッド自転車用後輪モーター型ドライブユニット）の不具合による事故が発生したことから、当該部品を搭載する電動アシスト自転車のリコールを実施することとし、5月16日の新聞に社告を行うこととしました。

経済産業省は、消費者の方々に対し、事故防止の観点から、該当機種の電動アシスト自転車のアシスト機能の使用を停止して頂くとともに、早急に事業者が設けるフリーダイヤルにご連絡頂くよう呼びかけるものです。

なお、本件事故に関する同社から当省に対する報告は、5月9日に行われており、改正消費生活用製品安全法に基づくものではありません。

### 1. 概要

- ・ヤマハ発動機株式会社が平成13年1月から平成15年2月までの間に製造した電動アシスト自転車用の電動部品（製品名：電動ハイブリッド自転車用後輪モーター型ドライブユニット）の不具合による転倒事故が、平成17年1月から平成19年4月までの間に7件発生しました（うち3件については骨折を負う重傷。）
- ・事故の原因は、当該電動部品の内部の摩耗又はハンダに亀裂が入る不良により、ペダルの踏み力が誤って検知され、人がペダルを踏んでいないにもかかわらず、モーターの駆動力が数秒間継続したために転倒したものです。
- ・当該電動部品は既に製造が中止されていますが、これまでにヤマハ発動機株式会社製の電動アシスト自転車（約12.9万台）、ヤマハ発動機株式会社から部品供給を受けたブリヂストンサイクル株式会社製の電動アシスト自

転車（約 8.0 万台）及びヤマハ発動機株式会社から部品供給を受けた宮田工業株式会社製の電動アシスト自転車（約 1.3 万台）の合計約 22.1 万台の電動アシスト自転車に搭載・販売されていることから、今回、これらの電動アシスト自転車についてリコール（無償点検、該当部品の無償交換）を実施することとし、5月16日の新聞に社告を行うこととしたものです。

## 2. リコール対象製品

リコールの対象となる電動アシスト自転車は、平成13年1月から平成15年2月までに製造されたもので、合計221,358台です。各社の内訳及び製品型式は以下のとおりです。

ヤマハ発動機株式会社：

台数：128,982台

型式：X101、X102、X121、X131、X132、X151、X152、X171

ブリヂストンサイクル株式会社：

台数：79,559台

型式：A12、A13、A14、A15、A16、A17

宮田工業株式会社：

台数：12,817台

型式：A01-11、A01-12、A01-23、A01-27

## 3. 事業者による告知

プレスリリース

平成19年5月15日（火）14時30分

新聞社告

平成19年5月16日（水）

掲載紙：読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、

日本経済新聞、静岡新聞、中日新聞（計7紙）

#### 4 . 消費者の方々への注意喚起

該当機種の電動アシスト自転車を御使用の消費者の方々は、アシスト機能の使用を停止していただくとともに、早急にそれぞれの製品ごとに下記のフリーダイヤルに御連絡ください。

ヤマハ発動機株式会社製の電動アシスト自転車

(ヤマハ発動機株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-855-747

ブリヂストンサイクル株式会社製の電動アシスト自転車

(ブリヂストンサイクル株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-937-851

宮田工業株式会社製の電動アシスト自転車

(宮田工業株式会社の問い合わせ先)

フリーダイヤル：0120-851-346

#### 5 . 経済産業省の対応

経済産業省は、今後とも回収点検の状況を注視しつつ、必要な指導をしていくこととします。

(本件に関する問い合わせ先)

経済産業省製造産業局車両課

担当者：鈴木、小山 電話：03-3501-1694 (直通)

経済産業省商務情報政策局製品安全課製品事故対策室

担当者：藤岡、義経 電話：03-3501-1707 (直通)